



▲太陽光発電によるクリーンエネルギーの活用を

今、温暖化防止対策を

答弁 = 前向きに検討している



青雲21
岡田 千賀子

この夏、記録的な集中豪雨などによる被害が各地で発生。暖冬なども含め地球温暖化が原因とされる気候変動が私たちの日常生活や安全を脅かしています。

エネルギーの節約や環境に対する住民意識の向上が促進されている今、

答弁II 清水町長

普及について。

① 太陽光発電設置に町独自の補助制度の導入を。

② すべての町立学校園に太陽光発電装置を設置する実施計画は。

① 温室効果ガス排出量の効果的な削減を実現するため平成22年度から「住宅用太陽光発電システム設置者への補助制度」を導入するため、前向きに検討しています。

② 現在、設計業務中で、来年3月に工事に着手し、秋ごろには完了の予定です。

発電量などがわかる電光掲示板を設置し、環境教育に活用したい。

その他の質問

▼ 浜幹線道路新設工事について。

▼ 古宮ダイワボウ社宅跡地の宅地造成地周辺の道路整備、県道明石高砂線(旧国道250号線)の歩道設置について。

新住宅地の雨水排水は

答弁 = 既存の地区内水路へ



住民クラブ
永谷 修



▲新住宅地の大量の雨水排水は古宮雨水幹線へ

古宮地区のダイワボウ社宅跡地37,000㎡に住宅が開発分譲される予定であるが、雨水排水路はどうなるのか。

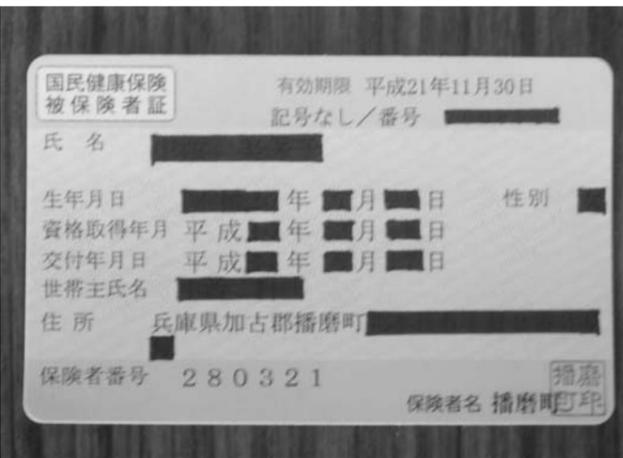
当該開発予定地には、以前は「堂の谷川」が存在していた。この開発予定地の雨水排水は「堂の谷川」に排水放流するの

答弁II 木村理事

開発予定地の雨水排水は開発予定地西側の田中道の水路とダイワボウ西側の町道古宮神社海岸線の水路となっている。

町の土地台帳によれば、堂ノ谷の水路や里道は、昭和41年10月に(旧)大蔵省から譲与により大和紡績株式会社取得されており、40年以上も前のことであるが、その時に「堂の谷川」を東側の古宮雨水幹線に付け替えられたと、航空写真などから判断している。

古宮雨水幹線への開発予定地の雨水排水は古宮雨水幹線の方が位置的に高く無理である。



▲受診時に必要な保険証

国保税の引き下げを

答弁 = 引き下げは考えてない



日本共産党代表
中西 美保子

平成21年度世帯当たり平均約5万円の値上げで、高すぎる国保税に住民は悲鳴を上げている。国保税の引き下げを。

答弁II 柘田理事

国保税の税率算定に当たっては「国民健康保険

運営協議会」で十分に審議していただき、また、3月定例会でも審議、議決されており、引き下げのことは考えていない。

下水道値上げの凍結

滞納者には水を止められる制裁措置があります。生きる人にとって、また事業者も景気低迷の中、大きな打撃を受ける。下水道料金値上げの凍結を。

答弁II 木村理事

使用料の適正化を図る

国が「平成19年度公的資金補償金免除繰上償還等実施要綱」を公表された。町としてこの制度の利用が住民負担の軽減につながる」とし、議会承認を得て進めている。

住民周知には本年5月の自治会長会で説明、広報6月号に掲載、リーフレットを水道検針時に配布した。

将来に自立・安定した経営基盤を構築するため、使用料の適正化を図る必要に迫られている。

特色ある町づくりを

答弁 = 町づくりは住民参加で



自治クラブ代表
毛利 豊



▲安全・安心で心豊かに育つ子どもたち

これから人口減少を迎える中で若い世代が、この町に移り住みたいと思えるような魅力ある町づくりを目指すべきでは。

答弁II 清水町長

町に住む人が安全・安心で心豊かに暮らせ、元

水害対策を

先月、予測を超える集中豪雨により、県内で大きな被害が発生し、当町でも一部地域で浸水した。対策を早急にすべきでは。

答弁II 清水町長

喜瀬川の改修工事は完了したが、水田川は改修工事中。降雨量の基準については県に確認したい。

新型インフル対策は

本格的な流行期に入ると厚労省から発表されたが、当町の対策は。

答弁II 清水町長

告知を徹底し対応する

広報10月号で周知をはかると共に感染すれば重症化の恐れがある妊婦などにマスクの配布も予定しており、感染拡大の抑制に万全を期したい。